



Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes 2.7

Web コンソール

コンソールコンポーネントの使用方法

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes 2.7 Web コンソール

コンソールコンポーネントの使用法

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

コンソールコンポーネントの使用方法について説明しています。

目次

第1章 WEB コンソール	3
1.1. コンソールへのアクセス	3
1.2. コンソールの概要	3

第1章 WEB コンソール

以下のドキュメントで、Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールのコンポーネントにアクセスして使用方法を確認してください。

- [コンソールへのアクセス](#)
- [コンソールの概要](#)

1.1. コンソールへのアクセス

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes Web コンソールは、コンソールプラグインとして Red Hat OpenShift Container Platform Web コンソールと統合されています。**All Clusters** を選択すると、クラスタースイッチャーから OpenShift Container Platform コンソール内の Red Hat Advanced Cluster Management にアクセスできます。クラスタースイッチャーは、最初に **local-cluster** が表示されるドロップダウンメニューです。

Red Hat Advanced Cluster Management をインストールしたクラスターで OpenShift Container Platform コンソール機能を使用する場合は、**local-cluster** を選択します。Red Hat Advanced Cluster Management 機能を使用してクラスターのフリートを管理する場合は、**All Clusters** を選択します。

クラスタースイッチャーが存在しない場合、必要なコンソールプラグインが有効になっていない可能性があります。新規インストールの場合、コンソールプラグインはデフォルトで有効になっています。以前のバージョンの Red Hat Advanced Cluster Management からアップグレードしてプラグインを有効にする場合、またはプラグインを無効にする場合は、以下の手順を参照してください。

1. プラグインを無効にするには、OpenShift Container Platform コンソールの **Administrator** パースペクティブにいることを確認してください。
2. ナビゲーションで **Administration** を探して **Cluster Settings** をクリックし、次に **Configuration** タブをクリックします。
3. **Configuration resources** のリストから、**operator.openshift.io** API グループが含まれる **Console** リソースをクリックします。この API グループには、Web コンソールのクラスター全体の設定が含まれています。
4. **Console plug-ins** タブを選択します。**acm** プラグインと **mce** プラグインの両方がリストされています。
5. テーブルからプラグインのステータスを変更します。しばらくすると、コンソールを更新するように求められます。

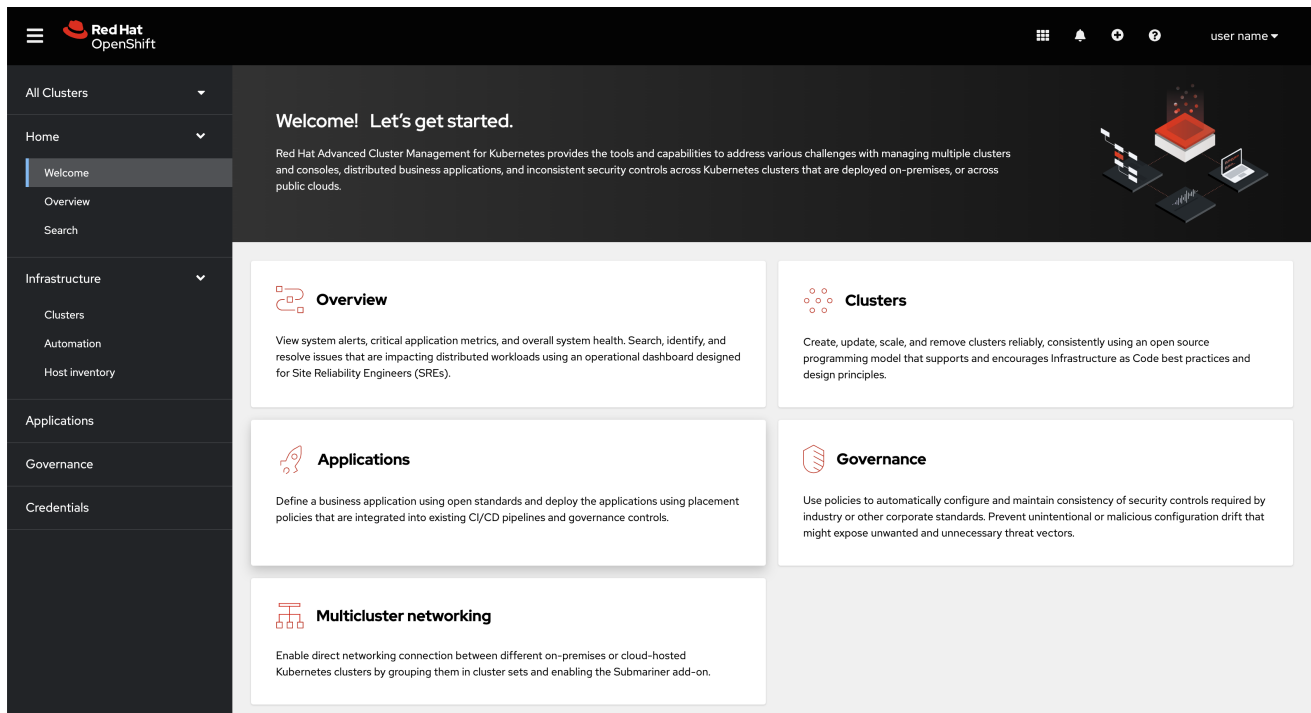
注記: OpenShift Container Platform 4.12 を使用している場合は、コンソールを有効または無効にできません。詳細は、[MultiClusterHub の詳細](#) を参照してください。

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの詳細は、[コンソールの概要](#) を参照してください。

1.2. コンソールの概要

コンソールの表示、管理、カスタマイズに使用できるコンソールのコンポーネントについて説明します。

以下に Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの **Navigation** のイメージを示しています。このコンソールについては、後続の各セクションで詳細が説明されています。ナビゲーションに、主要な実稼働機能があることが分かります。



1.2.1. コンソールのコンポーネント

- [Home](#)
- [インフラストラクチャー](#)
- [アプリケーション](#)
- [ガバナンス](#)
- [認証情報](#)

1.2.2. Home

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes の **Home** ページから、製品の詳細情報を取得して、ヘッダー機能や製品の主要なコンポーネントのページにアクセスできます。

- **Welcome** ページおよび **Overview** にアクセスすると、クラスターを可視化できます。**Overview** ダッシュボードでは、以下のクラスター情報を表示できます。
 - マネージドクラスターからのメトリックデータ (Grafana リンクを選択)
 - すべてのクラスターおよび各プロバイダーのクラスターとノードの数
 - クラスターの状態
 - クラスターのコンプライアンス
 - Pod のステータス
- **Grafana** を選択して Grafana ダッシュボードにアクセスします。

- **Clusters** ページで **Add provider connections** タブを選択します。

Home タブからも **Search** を利用できます。検索については、[コンソールでの検索の概要](#) を参照してください。

1.2.3. インフラストラクチャー

Clusters から新規クラスターを作成したり、既存のクラスターをインポートしたりできます。**Automation** から Ansible テンプレートを作成できます。

クラスターの管理の詳細については、[マルチクラスターエンジン Operator クラスターのライフサイクルの概要](#) を参照してください。

さらに、[マネージドクラスターで実行する Ansible Automation Platform タスクの設定](#) で、これらのクラスタータイプに関する特定の情報を確認できます。

1.2.4. アプリケーション

アプリケーションを作成し、**.yaml** ファイルを編集します。各アプリケーションの概要または詳細情報にアクセスします。アプリケーションリソースの詳細は、[アプリケーションの管理](#) を参照してください。

1.2.5. ガバナンス

.yaml ファイルを作成および編集して、ポリシーを作成します。**Governance** ダッシュボードを使用して、ポリシーとポリシーコントローラーを管理します。

詳細は、[ガバナンス](#) を参照してください。

1.2.6. 認証情報

認証情報では、クラウドプロバイダーのアクセス情報を保存します。1つのプロバイダーのドメインごとに独自の認証情報が必要になるのと同様に、プロバイダーアカウントごとに独自の認証情報が必要です。

認証情報を確認または追加します。

プロバイダーと認証情報の詳細については、[認証情報の管理の概要](#) を参照してください。